



2011年ステーキ大会のご報告です。

2011年4月23日・土曜日に開催された「成人の集会」は、以下の通りです。

2011年4月24日・日曜日に開催された「神権指導者の集会」は、以下の通りです。

2011年4月24日・日曜日に開催された「一般大会」は、以下の通りです。

日本さいたまステーキ大会の今回のテーマは、「イエスとの一致」です。

フルートの演奏がありました。

メルキゼデク神権の「長老」の職に、6名の兄弟達が支持されました。

桶川ワードのダレスカ姉妹、ふじみ川越ワードの仲山三枝子姉妹、桶川ワードの中西姉妹のお話がありました。

葛西家族の「お父様は生きて居ます」のコーラスとバイオリン演奏が、披露されました。

実川兄弟の2年間の求道者としての証が、イエス・キリストの御名によって述べられました。

ふじみ川越ワードの改宗者の神藤紀美子姉妹は、欠席されました。

ドーフ会長の話、預言者の教えは、今迄信じて居る信仰を大切にすることです。

39名が2年以内に改宗、ステーキで17名が宣教師として奉仕して居ます。

内田姉妹が宣教師の母親としての証を、述べられました。

大震災の時に、何処に居たかは、忘れ無い。

丸谷長老姉妹のお休み会員の安否確認のご奉仕のご紹介が、ありました。

近い内に「飲料水の配付」が、アジア北地域会長会からあります。

私はステーキ会長として、2113名の安否確認を、アジア北地域会長に報告しなければ、成りませんでした。

ウークトドルフ管長が話された「ピアノを運ぶ話」を、引用されました。

今回は、552人が出席したステーキ大会でした。

今日は、「イースター」です。

モーサヤ28：3とヤコブの手紙から引用し、信仰を御霊を伴侶として生きたものとする時期です。

堀田徹・日本東京神殿会長と幸子姉妹・メイトロンのご紹介です。



2011年4月23日・土曜日の「成人の集会」へのご訪問者を、ご紹介致します。
堀田徹・日本東京神殿会長と堀田幸子姉妹（メイトロン）です。
（写真は、ご本人からのご了承を戴きましてから、上の「救い主の絵」と入れ替えます。）

末日聖徒イエスキリスト教会の大管長会は、6人の神殿会長とメイトロンを、召しました。

2009年6月27日付けの「チャーチニュース」は、以下の記事を掲載して居ます。

1、アリゾナ州メサ神殿会長：ダリル・H・ガーン長老、70歳とアイリーン・ホール・ガーン姉妹

2、フィンランド・ヘルシンキ神殿会長：カリー・ジュハニ・アスラク・ハイコラ、73歳とアウリ・アニタ・ヌルミ・ハイコラ姉妹

3、日本東京神殿会長：堀田徹、70歳と幸子姉妹（旧姓：田川）

堀田徹兄弟は、日本名古屋ステーキ・御器所ワードの会員で、中野正之会長の後任として、2009年11月1日から3年間、日本東京神殿会長に召されました。

堀田幸子姉妹は、中野道子姉妹の後任のメイトロンです。

堀田会長は、これまで地域七十人、日本札幌伝道部会長、地方部評議員、ステーキ会長、ビショップ、ワード伝道主任と神殿儀式執行者を、歴任しました。

教会教育システムの日本名古屋地区の地区コーディネーターと日本名古屋地区のインステチュート・ディレクターを退職しました。

徹会長は、日本・福井県遠敷郡で、堀田作男と豊田歌子を両親として、誕生しました。

幸子姉妹は、ワード日曜学校教師です。

彼女は、夫が日本札幌伝道部会長として管理していた時に、一緒に奉仕しました。

彼女は、ステーキ扶助協会会長、ワード扶助協会会長とセミナリー教師を、歴任しました。

彼女は、日本・神奈川県川崎市で、田川鶴松と植田照を両親として、誕生しました。